此

如 フ

有

樣

ュ

ヱ

吾人

我帝國

植物學 亦其

爲

× w デ

=

廉ノ覺悟決心ヲ要スルー

思 杳

テ 必要

居

=

ŀ

デ

ァ N

jν

ガ

此

等

Ŧ

必 來

耍

ナ , 杳

場處

植物學

ガ普及

シ

テ居ラ

ヌ

證據

ッ ハ

デ

ァ

w

調 分

モ w

感

ゼ

ネ

又調 居

査 1

Æ

能

ŋ

出

ヌ

アル

此調 タ

査

ノ出來テ居ナ

1

=

ŀ

平常

私 面

特 缺

= ケ

1

爲

遺憾

根本調

杳

出 モ ハ

來

テ

ナ

是

v

畢竟其調

基礎

įν

ベキ

分類植物學

ガ其

方

=

テ居 我國

w

力

ラ自然 ij 叉我邦固

|有若

缺

乏シ

w

力

10

證

據立

レテ居

iv

デ

ナ

ż

力

w

即

チ

梅

デ ク

桃 在 テ居

デ 來

屯

維

新

來

ŀ

シ

テ

女調

查

ガ出

來テ

居

w v

Æ 智識

1 y

ガ

ナ 直

オ チ

又農

業植

物 者

デ

Æ

其通

ゔ゙゙゙

山茶デモ学園藝植物

7

根本調 テラ

查

۱ر

少

* */

壬 ۱۷

出來テ居

ナ

1

是

取

E

ズ園藝學

怠慢デ

ァ

w 充

5 者 多 力 テ 我 工 ラ 此 イ モ ズ之レ b 樣 早 點 75 1 植 Ì ハ 速 洋 物 今日 ヲ 對 ラ人 學 夕 = ガ 理 打撃ヲ . 5* ガ普 モ v 櫻桃 流行 僥倖 想通 テ = 及 餘 及 受ケ ij ŀ = y _N 也 無學 出 だ 云フ名ニ定 ヌ ヌ 新花 1 其進 來 然シ之ヲ救 b デ iv 例 ノヲ待 r あ花ヲ見テ ヲ學 ヲ造リ世 步 ラ阻 w 其 L ゲ ルナ ッ v , 碍 ラ ・テ居 故萬事 見 = **シ** ۸ر ド誤謬ヲ通 出 ラ 何 屯 Ħ 居 分 iv ス デ ゥ , 1 w 西 Æ iv 即 此等 デ我邦 洋 デ ナ = チ ハナ ィ ŀ 此 人 ij ノ新花 ガ = タ 植 1 越 7 多イ例 物學 10 園藝者 菊花 籌ヲ輸 シテ滑諬 又園藝植物 ۱۷ 皆學 普通 アが ~ ~ ガ ス 問 * 今 園 = w セ 藝植 近 ヺ , 少シ æ 又 名稱 西洋 イ即チ 基礎 事 デ ァ 植 物 ガ w 物學 デ新 園 デ ŀ デ 此 Æ へ 澤山 シ 西 荻 亂暴 議 ラ研 洋 花 ラ造 智 = 方 馳 ラ新 園 シ 究 證 面 2 Æ シ 塾 ヲ w = 参せ テ 得 花 1 者 影 コ ガ ŀ 拵 ガ 我邦 頗 出 植 シ ۱۷ ₹/ 「來テ 面 w 物 園 w Ħ 多 Þ 1 學 1 人 今 = ク 居 デ 1 ゝ 植 殊 日 jν 素 今 如 日 物 又新 養 Ė 何 = 本 西 園 = , 方 ガ 植 洋 園 花 ァ 藝 處 物 jν ŀ 斷

〇小學讀本ノくがいさう

富 太 郎

牧

野

學讀本ノくがいさう

學讀本ノくがいさら

本ノ二種 草本威靈仙

ト記スル

ハ小野巓山

ノ本草綱目啓蒙ナリ然レドモ

是 單

=

說明

=

シテ名稱ニ

係

故

ŀ

東ネテ之ヲ漢名

ŀ

ス

jν

シャル 非

ナ

リ而

シ テ

、威靈仙

ヲ以テくが

さうニ充

ッ

n

我邦本 關

草

(30) 月 Œ. 大 大形 然其 以北 示教 今左ニくがいさうヲ圖說シ ニ自生シ いおうア <u>'</u>= 何ト īE くがいさう ルガ如 輪生ヲ成 ナル ŀ 非ズシテ只數葉密ニ ノ材料 くるまゆりヲ廢 ノ高山 ガ斯 四 (二名) ナ ナ 年三月二十四 ル多年生 又從來往 レバくるまゆりノ葉 ク從テ其實物ヲ ク從來ノくるまゆりヲ此くがいおうニ換 リ是レ此 + = ニ限ラレテ生ジ普通 スト 供 ۱ 固 くかいさう、 一ノ花草ナ 威靈仙(本草綱目) スルヲ得ベシ 々人 同 修正 3 リ質重 日 H シテ之ニ代ルニくが 家 本ニ 修正發行文部省編纂ノ尋常小學讀本卷ノ十二葉 1 論 一相接近 得 ルヲ以テ ノ庭際 ズ故 テ其如何ナル植物ナルカヲ示スベシ ナ 新 = とらのを、やまつくみ、くるまさんしち ル考察 丽 アラズ修 加加 ハ下ノー群莖上ニ車輪様ヲ呈シ **≥** シ = ・テ其葉 / 兼テ觀 一栽ヱ花 恰モ 書中ニ其品名アルモ其實物 ハ之ヲ見ルコ ハリ 本草綱目ニ草本威靈仙ナル漢名ナシ本草綱目 三出 輪生セル Ē タル植物ニシテ元 賞用 前 「ラ賞ス故ヲ以テ其實物ヲ得ルモ亦敢テ難事ニアラザ デ ハ規正ニ莖上ニ いさうヲ以テセル タル 讀本ノ如ク トシテ校庭 モ ١ カノ如キ外觀 ノナ 能 ヘシハ誠 ハズ又中部以西即 y ト 徒ニくるまゆりノ名ニ捉 輸生シテ層又層ヲ成シくるまゆりノ如ク貧弱 ~ 裁ウ ノくるまゆりヲ改メ換 所以 ~三至當 言フヲ得ズ 名質相稱フガ如クナレド アル ハ容易ニ之ヲ手 レンパ年 ナリくがいさうハ我邦ヲ ノミ ラ見 加之此 々繁茂シ チ關西ノ諸州 ニシテ吾人 ノ項アリ中 くるまゆり = スル 一ハ以テ花ヲ賞シ一ハ以 へ シ ノ文ヲ按シテ威靈仙 ハレテ之ヲ輪生葉植物 ハ大ニ其 ニ輪生葉植物 ョ ト = モ 在リテ モ實ハ其葉 , 通 · 能 _ ۱د ジテ廣 我 所ヲ ý ハズ讀本 郑中部 前 アノ ハ 絕工 ブ例 得 3/ 風夕諸州 3 ・
文
文
部 八眞 タ 平編纂者 テ之ヲ生ズ ïν ナラズ强壯 3 ŀ 二草本 三旦 y 正 ヲ喜ブナ シ テ實 省 テく **≥**⁄ ガッ 輪生 例 山 テ ッ 藤 其 虛 編 物 地 办

セ

鍼形ヲ呈シ

花 ,

丽

ラ花梗

或ハ長ク或

ハ細小

v テ各

短梗

ヲ

具

穗軸

、周圍

密 ナ

小梗

ハ萼ト

同

長 ŋ

或 短

ハ之ョ シ

ŋ

短

ク 丽 3

シ y

テ毛ナシ〇萼

ハ長サー分或 ハ短シ○花

ハショ

ŋ

短シ緑色ニ

シ

テ

毛

ナ

シ

丽

テ

花穂ノ 分枝

、基部

ノモ

ハ線形或

ハ線狀披針形 ノ花ヲ著ケ瘦

シテ鋭尖頭ヲ

有シ花

ラリ長

(シ其他

モ

~細

小 毎

= =

テ長銀尖頭

ヲ 苞 雖ド

Æ

細

長

ナ

ルヲ以

ラ頗ル穂狀花

アナ

スノ觀アリ長サ數寸乃至

一尺餘

アリテ直

立

或

方ニ

傾ケ

ý,

穗軸

マセズ

・テ其周

圍

三無數

長

Ξ

シテ毛ナ

*

Æ

ノアリ

或べ毛

ァ

jν

屯

ノアリ花 1,

下 ¥

=

苞ァ

y,

八葉ヲ以テ正

₹⁄

ク莖節上ニ輪生ス通常披針形ヲナスト

雖ドモ又長橢圓狀披針形或

ハ橢圓狀披針形

或

卵狀

末

(學名) ス所其當否ハ予之ヲ知ラザ jv

Leptandra sibirica Nurr. (二名) Veronica sibirica

ナリ

くがいさうハ九蓋草ノ義ナリ其葉莖上ニ層ヲナス少キハ八九層多キハ十二三層ニ至ル故ニ此名アリくかいさう

ごまのはぐさ科

(玄參科)

至ル 多年生ノ直立草本ニシテ高サ二尺乃至四尺許アリ〇 ハ九階草ノ義 、マデ通ジテ節上ニ葉ヲ生ズ綠色ニシテ通常毛ナシト ナリ亦能 ク其實際ヲ顯ハスノ名ナリ 小叢生 雖ド 一シ痩長 毛 或 ٧. 又少シ ニシテ 圓 ク毛ヲ帶 柱 形 ヺ ブ ナ w シ 枝 Æ ノア ラみ ́у О 夕 ズ 葉 本 3 四 y 乃

ズ上 ツ鍛 形或 ナラズ○花穂 いい多數 Ė 走リ多少号 面 頭ヲ有シ最下 卵狀橢圓 へ通常 ノ鋸歯アリ長 :毛ヲ帶ビズト 頂生 |状ニ彎曲シ中脈 形 アラ呈 'n ーシテ梗 モ , サ凡二寸乃至六寸許幅凡五分乃至一寸六分許アリ茲 ス ハ最 ĵν 雖ド 、モノアリ葉柄之レ アリ モ小形ナリ面 ・モ下面 'n 7 兩側ニ各五乃至十五條許アリ、 シ ラ時ト ハ通常毛ヲ散生ス、中脈 シテ梢葉腋 シテ花梗下ノ梢葉へ形チ頗ル狹小トナ ・ナク或 ハ多少葉柄狀ヲナ 3 リ出 ヅ ハ下面ニ jν 側生 細脈ハ支脈間ニ網狀 一ノ有梗花穂ヲ伴 スモノアリ葉末 在テ隆起シ ノ基部ノ葉 レリ葉質乾 、支脈 ヺ ラ ハ上方ノ ナ 銳尖頭 = ハ 羽狀 スト ŀ ァ ケ 'n 雖ドモ J١Ñ モ ヲ 通常 總狀 出 1 ナ 3 ₹ デ テ テ尖リ 花 略 暗色 IJ 短 ボ 分 ŋ ナ 明 Ŀ 且 葉

學讀本ノくがいさら





柱ノ上部、へ ス 8 雌薬ノ全體、 ル(11)子柱頭 (10)子 (10) 夢チ件フ 雄蘂ノ腹面 開展セル花冠 住頭 (10) 横截セルセノ上部、(イ)ハ 八部 2八花穂 (2) ハ縮圖 を製片ノ 花、(イ (イ)ハ花盤 (12)(イ)人苞 さら 開裂七 チポス = (13)(9) 花 テ (6) (5)

ハ謝落ス○ ハ謝落ス○

۱۷

毛茸ヲ散

生

ス

花

 ν

花

冠

雄蘂

後

方

個

及了

F,

前

方

略 縱 瓣 テ 形 シ ク = 有 **シ** 部 存 以 通 合 テ 超 子 時 ヲ 片 即 位 र्गः" シ ス = 廣卵 ラ 體 端 ナ ス テ シ 覆 3 出 房 チ y 元二 テ眞 微 短 下 側 シ 前 w セ 瓦 IE ス 下 花 片 長 銳 緣 = 3 形 ナ 位 ₹/ 面 y 直 冠 或 毛 頭 驷 拘 最 サ E ~ = = 一裂片 或 形 外 シ + シ ヲ 五 Æ ٧, 半圓 外 合體 **分半乃至** 片 ラ 方 有 テ w テ 或 = 小 = Ĺ 筒 紫色ヲ呈 面 ズ 25 ス 銳 ナ £, ۱۷ ハ 深 該片 片 狀卵 一般ラ 縱 尖頭 卵 著 長 y セ テ 位 裂 他 脈 狀 該 並 3 7 3 セ ٧. ₹/ 三分半 上 毛 形 ナ ヲ 披 Ŀ y ク モ = 筒 ヲ 條 針 ナ 1 上 下 シ シ 有 部 瓦 ゝ 舷部 片 形 シ ナ 片 ナ 部 7 シ 即 ハ ý () 元 全邊 ŀ 共 或 **シ ≥** チ w 2 3 來 最 銳 四 後 雖 3 脈 條 y ァ ク 脈 内 頭 裂 リ合 勢上 花 ŀ 縱 Æ 短 披 ŀ° 面 = 廣 ヲ 通 方 ヲ ク 冠 シ 針 Æ

(二)葉ハ對生或ハ互生ヲ交ユ、花冠ハ輻狀、

とらのを属ト

ノ差違ノ要點ヲ揭グベ

シ

一)葉ハ輪生、

花冠

ルハ筒狀、

果實ハ卵圓形ニシテ平扁ナラズ

果實ハ倒心臓形或ハ凹頭ヲナシ平扁ナリ

るりとらのを屬(Veronica)

くが

いさう屬

(Leptandra)

其花

ヲ 乃

第誌雜究研物 立シ長 〇種子 スト 上位ヲナシ細小ニ シテ上頭尖リ多少左右 一分半許アリテ卵圓 グ狀 テ花 アリ べ 充タズ ž 許 時ニ 頂末 アリ、 ハ多數 屬セルくがいさう屬 (Leptandra) ハ通常るりとらのを屬 (Veronica) 所屬ノモ クシテ眞 粉ヲ内方 缺 觀併 鈍 胎座 如 亦胞 頭 花 唯 セテ又其近縁 ニシテ胎座 ニシ ハ中軸性 背 直 絲 側 ッ テ下半 開裂 細小 ナル絲狀ヲ呈シ花冠外 シテ長サ凡半分弱アリ無柄 向フテ吐ク而シテ雌蘂 ハ絲狀ヲナシテ直ク其花冠筒ニ入レル部ニハ前面ニ毛茸アリ、 方 形、 ヲ ナル頂生ノ柱頭ト ニシテニアリ多數 ヨリ壓扁 ナ 卵形或ハ長卵形ヲ呈シ無モニシテ往々遂ニ落去 ハ雨裂 面 個 シ胎座 發 = ノ諸屬植物ト比照シ乃チ之ヲ別屬ノモノトスルヲ以テ是ナリト 達 附着シ橢圓 シ シ長耳形トナル背ノ中央ヲ以テ花絲 セラル平滑無毛ニシテ内部 ブー テ花 塊 短筒 形ヲナ ラ中 ナル〇果實 |ノ卵子(即チ所謂胚珠)ヲ其表面 ≒先チラ熟シ所謂雄蘗先熟ヲナス○雌 超出ス而シテ通常少シ 下方(基部 央ニ遺シテ硬質ナル心皮ノ上部四 = シテ直立シ花冠筒 シ表面ニ細微ナル窠紋ヲ呈シ長 ハ蒴果ヲナシ宿存セル襲ヲ伴ヒ之ヨリ長シ長サ凡七厘 ニアラ か前 ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゠ 後 ク雄蘂 ノ二室ニ ノ底部ニ 生ジ高 7 尖端ニ着ク二胞 スル花柱ヲ戴ケリ而 一分隔 附着 一潜居 リ低シト雖ド ク 花 名ス、 藥一個 プサルー厘半許 一殻片ニ分裂シ以テ種子 冠 セ シ ラレ 腰部ニ 葯 Ĺ 花柱 ノト承認 ハ卵狀長 側 花 室 = 面 短キ 超 モ又之レト ハ子房ノ頂ニ アリテ内向 \oplus 出 想フ左ニ本屬 Ξ 花盤 が橢圓 各一條ノ アリ 央 セラル然ド 3/ ス ンテ胞間 長 = 立 形ニ ヲ伴フ卵 サニ分半 シ縦 同 ッ、 生ジテ ヲ糝 高 総線 シテー 開 裂 子 Æ

開

裂

ヲ 形

直

Æ

・學讀本ノくがいさう